



北小っ子だより

甲州市立塩山北小学校
学校だより 第 4号
令和5年 9月 1日
(文責：中村 裕司)

2学期のスタート！

◇34日間の夏休みも終わり、2学期がスタートしました。

始業式で学年の代表として6人の子が夏休みの思い出とを話してくれました。子どもたちはどんな夏休みを過ごしたのでしょうか。各学級で夏休みにどんなことがあったとか、どんなことをしたといった話があったことでしょうか。夏休みだからできたことは何だったでしょうか。子どもたちにとって、何かしら心に残るような夏休みであったらとおもいます。

◇様々な活動が目白押しの2学期です。

「目白押し」の語源のとおり、様々な行事が計画されています。運動会や持久走大会と言った体育行事や、工場見学や博物館見学など、学校の外で、現地に行つての学習もあります。また、学校外の方に来てもらつての学習もあります。

甲州市では、いち早くICT 端末を学習に導入し、子どもたちの学びの幅はぐんと広がっています。一方で、実物から学ぶ、実体験から学ぶことも重視しています。「デジタルとリアル」の融合です。この、「リアル」の部分での学習活動としての取組みを2学期にもいくつか計画しています。

『目白押し』は、小鳥のメジロの習性から生じた言葉で、鳥のメジロは、秋から冬に群れをなして木に止まる習性があり、メジロが押し合いへし合い木に止まることを「目白の押し合い」と言っていました。そこから、込み合っていることや物事が多くあることを意味する慣用句と

◇2学期、まずは大きな学校行事としての「運動会」を9月30日に予定しています。

人とかかわりの中で、折り合いをつけながら、目標に向けて取り組む。運動会となると、どうしても勝ち負けに目が向いてしまいます。しかし、運動会当日までの取組みの中で、役割を果たすこと、今すべきことは何かということ、協力して何かをやり遂げることなど、たくさんの経験があり、そのことを通しての成長を期待したいと思っています。

運動会の取組みは、9月中旬から徐々に始まります。長期予報によりますと、9月も平年より気温が高いことが予想されています。学校などでの熱中症に関する報道がいくつもありましたが、子どもたちの体調を第一にしながら進めていきます。「学年だより」「ほけんだより」でも触れていますが、ご家庭でも熱中症対策にご協力をお願いします。

◇「敬老の日」に合わせた取組みとして、お年寄りへのお手紙を書きます。1人が1通か2通書くことになっています。顔を合わせたことのない方に書く子も多いと思いますが、手紙の向こうの顔を思い浮かべながら書いてくれることでしょうか。その手紙の多くは、子どもたちが配達します。普段うかがうことのないお宅へ行く場合もあるかもしれませんので、配達を担当になった場合は、ご家庭でもご協力をお願いします。

感染症の予防を！

最近の報道では、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者が増えているとのこと。感染症の予防の原則は変わりませんので、周辺地域での感染状況などを確認しつつ、適切な感染予防をお願いします。

8月31日は、スーパームーンでした。地球と月の距離は、約38万kmです。しかし、軌道が地球を中心とした完全な円ではないため、地球との距離が変化します。昨日の満月は、地球に最も近い時期の満月とすることで、いつもより大きく見えました。満月ではありませんが、今日も大きな月が見えると思います。朝晩、少し過ごしやすくなってきてので、ちょっとだけ夜空を眺めてみませんか？

ところで、JAXAはH2 ロケットで月面探査機 SLIM の打ち上げを計画しています。日本も月へ探査機を送れるようになったんですね。探査結果が楽しみです。

防災の日(9月1日)

関東大震災から100年目の今日、「防災の日」に合わせて、地震を想定した避難訓練をしました。多少避難に手間取った学年もありましたが、避難開始の合図から4分後には、全員の避難の確認ができました。授業中など、学級での活動の際には、『先生の指示に従って』を基本に、「お・は・し・も」の原則に従って避難します。

慌てずお互いに安全に避難するための「押さない」

安全な経路を慌てずに避難するための「かけない(走らない)」

集団で行動するときに、指示を正確に聞くための「しゃべらない」

危険から回避し、安全場所に一刻も早く移動するための「戻らない」

パニックになりそうな非常事態においても、適切な行動をとれるようにするための訓練です。

しかし、休み時間や清掃時間など、教員がいない場面での避難は、『自分で判断する』必要があります。そのために、地震の時の安全確保行動としてシェイクアウト訓練も年数回行っています。自分の命は自分で守る。そのためにどんな行動が必要か。集団での避難訓練と合わせて、事前・事後指導の中で触れるようにしています。

訓練の最後に、火災は防げるが地震は防げない。だから、地震が起きた時に命を守る行動がとれるようにすることが大切であるという話をしました。

また、6年生には理科の学習として地震とそれに伴い発生する災害について学習を行い、おまけとして「備え」の大切さを伝えました。

関東大震災から100年、防災の日がなぜ9月1日なのか知らない人が増えているとの報道を耳にしました。「災(災害)は忘れたころにやってくる」とのことわざを戒めに、防災意識を高める日としたいものです。そして、命を守るために必要となる『判断力』を、学校教育の中で育てたいと思います。

「お・は・し・も」
お：おさない
か：かけない
し：しゃべらない
も：もどらない

シェイクアウト訓練は、地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。

【非常持出品】

両手が使えるリュックサックなどに、避難の時必要なものをまとめて、目のつきやすい所に置いておく。

- 飲料水・携帯ラジオ・衣類・履物・食料品・マッチやライター・貴重品・懐中電灯・救急セット・筆記用具・雨具(防寒)・チリ紙など・・・生活に欠かせない用品です。

【非常備蓄品】

地震後の生活を支えるもの、一人3日分程度(食料品等)

【停電に備えて】

懐中電灯・ローソク(倒れにくいもの)

【ガス停止に備えて】

簡易ガスこんろ・固形燃料

【断水に備えて】

飲料水 ⇒ 1人分：1日3L

【防災準備品】

地震直後の火災や家屋倒壊に備えるもの

【火災に備えて】

- 消火器・三角消火バケツ・風呂の水の汲み置きなど。

【避難・救出に備えて】

- おの・ハンマー・スコップ・大バール・防水シート・のこぎり など。

皆様のご家庭ではどれだけ準備できているでしょうか？

また、登下校時、遊びに行っているときには家族とどこで会えるようにするのかあらかじめ相談しておくことも大切だと思います。

『備えあれば憂いなし』の言葉通り、いろんな面での『備え』を確認するチャンスでもあすように思います。ご家庭の状況に合わせてチェックしてみてはいかがでしょうか。



※日本赤十字社、北海道支部のHPにも別のチェックリストがアップされています。⇒